

地域の避難訓練などで 「地域防災タイムライン」 を活用しませんか

災害の発生が迫ると、どのように行動したら良いか判断が難しく、適切な行動が取れないおそれがあるため、次のようなことを事前に確認しておくことが重要です。

- ① お住まいの地域にどのような災害リスクがあるか
- ② 災害時に、いつ、どのような行動を取るか
- ③ 避難する際に、誰に声を掛けるか

地域防災タイムラインを作成して いざというときに備えよう！



ご自身の避難について考えてみましょう！

日頃からの備え

自宅の災害リスク ▶ ハザードマップ上で自宅周辺に色が塗られている場合は、口にしめてください。

土砂災害 洪水 ため池決壊 ▲ ため池マップ

まずはこれ！ 防災グッズチェックリスト

飲料水(1日1人3リットル×3日)	防寒具・アルミブランケット
食料(人数×3日)	ガムテープ・軍手(人数分)
モバイルバッテリー	靴・スリッパ
携帯ラジオ	ホイッスル
	簡易トイレ
	救急セット

※ その他グッズ一覧は、右のQRコードを参照▶

情報収集ツール

気象情報	テレビ・ラジオ	防災行政無線
避難情報の収集	防災メール	防災アプリ

避難のタイミング

避難に支援が必要な人(高齢者、障がいのある方、乳幼児、妊婦など)

☐ いる	警戒レベル3 高齢者等避難で避難
☐ いない	警戒レベル4 避難指示で避難

避難する場所

避難先は2つ以上確保しておきましょう。

安全な場所にある、親戚・知人やホテルなども避難先になります。

と

地域防災タイムライン
(サンプル) ○○自主防災会

この地域では、大雨が降った際に、

土石流が崩れ 洪水 ため池決壊
が発生する危険があります。

災害が起こる可能性が高い時には、
ご近所で声を掛けあって
早め早めに避難する
必要があります。

▼ここが大事！ 明るいうちに 家族やご近所と声をかけあって避難

特に、高齢者等には警戒レベル3で声かけを

～避難訓練などの際に、この用紙を活用してください～
避難する際の声掛け先

氏名	連絡方法
氏名	連絡方法

個人の避難行動
に関する内容

災害時の地域住民相互の
声掛けに関する内容

10分くらいで
作成できるよ！



あなたの地域でも
やってみませんか？



自主防災組織が行う避難訓練などで「地域防災タイムライン」を活用したい場合には、
県で地域ごとのタイムラインを印刷し、訓練までに必要部数を印刷・送付しますので、
「地域防災タイムライン作成シート」を広島県消防保安課へご提出ください

様式はこちらから
ダウンロード



(様式) 地域防災タイム
ライン作成シート

●広島県HP
「地域で災害に備える！
「地域防災タイムライン」」